

小中一貫教育だより

加東市教育委員会 小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

令和3年5月10日発行

滝野地域小中一貫校建設地について

令和3年4月1日に東条地域小中一貫校『東条学園小中学校』（愛称『東条学園』）が開校しました。加東市では、順次、社地域、滝野地域と、小中一貫校の建設を進めていきます。小中一貫校の設置場所や施設形態については、平成27年に地域ごとに設置した「小中一貫教育推進協議会」（以下、「推進協議会」という。）での協議結果を踏まえ、教育委員会から以下のとおり方針を示していました。

【加東市における小中一貫校整備方針】

	社地域整備方針	滝野地域整備方針	東条地域整備方針
設置場所	加東市立社中学校周辺が適切	加東市立滝野中学校周辺が適切	加東市東条文化会館周辺が適切
施設形態	教育効果及び安全面を考慮した一体型校舎	教育効果及び安全面を考慮した一体型校舎	教育効果及び安全面を考慮した一体型校舎

特に、滝野地域において、加古川に近接する滝野中学校周辺では、過去にも洪水時に心配があったものの、河川改修工事が進むこと、また、建設予定地は滝野地域の中心地であり、児童生徒の毎日の教育活動を考慮すれば、滝野中学校周辺が妥当であるとの推進協議会での協議結果に基づき、計画を進めてきました。

その後、平成28年6月に国土交通省から、「想定最大規模の降雨※（降雨確率1/1000年超）による洪水浸水想定区域図」が公表され、滝野中学校周辺は、5mから10m未満の浸水区域とされました。そのため、改めて令和3年3月に「建設地検討委員会」を立ち上げ、各家庭に配布しています「令和2年度版加東市風水害ハザードマップ」の内容について教育委員会事務局から説明をしました。地域・学校・保護者の代表に参加いただき、再度検討した結果、以下のとおりになりました。

※想定最大規模の降雨…過去に観測された最大の降雨量に基づき想定される最大規模の降雨。発生頻度は極めて低いが、理論上起こり得る最大の大雨。流域平均雨量：750mm/48時間。【「令和2年版加東市風水害ハザードマップ」から】

R3.3.19(金)
滝野地域小中
一貫校建設地
検討委員会

【検討結果】

加東市滝野地域小中一貫校建設地予定地については、洪水浸水の危険性について提示があったものの、以下の理由により加東市立滝野中学校周辺が妥当である。

- 理由1 現在の予定地が、滝野地域の中心に位置する。
- 理由2 現在の予定地以外で、学校用地として必要な面積を確保することが困難である。
- 理由3 想定最大規模の降雨では、自らの生命の安全の確保を優先させる状況であり、学校の立地により危険を回避するものではない。

教育委員会では、上記の検討結果をもとに、滝野地域小中一貫校の建設予定地を、当初の計画通り、滝野中学校周辺として進めていく予定です。なお、「滝野地域小中一貫校建設地検討委員会」の会議内容や、資料については、加東市教育委員会のホームページに公開していますのでご覧ください。また、滝野地域では、小学校と中学校で9年間を貫いた教育目標を設定し、小中一貫教育をスタートしています。系統性・継続性のある教育により、ふるさとを愛し自らの夢に挑む自立した子どもの育成を目指した、小中一貫教育の方向性を示した、ランドデザイン（裏面参照）を作成しましたので、あわせてご覧ください。